

リ | ハ | ビ | リ | 日 | 記 |



回復期リハビリテーション課
作業療法士 樋浦 美香子

私の所属する回復期リハビリテーション（リハ）課は、主に脳神経外科や神経内科、整形外科などからの処方により、リハを提供しています。

私達のリハチームは、理学療法士19名、作業療法士10名、言語聴覚士3名、義肢装具士2名の計34名で、回復期リハ病棟に入院している患者さんを担当しています。回復期リハ病棟は、急性期病棟での治療が落ち着いた後も、心身機能の回復や自宅退院に向けての準備など、継続的な支援が必要な方に対して様々な職種で協力し、サポートをしていく病棟です。

患者さんは病気や怪我により、食事やトイレなど身の回りのことや、仕事や趣味など今まで普通にやっていた活動が、行えなくなっ

てしまうことがあります。そのため「もう自分は何もできない」「楽しみが何も無い」と、普通の生活や楽しみを諦めようとしてしまいます。そのような患者さんを減らし、退院後の生活に希望を持って頂けるよう、入院中から様々な取り組みをしています。その一つとして、主にトイレや食事などに介助が必要な患者さんの介助方法を、リハスタッフから病棟

〃その人らしい生活〃が

送れるよう精一杯

支援し続けたい



スタッフに伝達し、病棟内で統一した介助ができるようにしています。

この取り組みにより、介助量の多い方でも食堂で皆と一緒に食事をしたり、トイレで排泄ができるようになります。他にも、安心して退院ができるよう、入院中に家庭訪問を行い、必要な福祉用具の検討や自宅環境の調整などを行



うことで、多くの患者さんが自宅退院をされています。

私は、退院した患者さんが楽しく生活していることを耳にした時が、一番嬉しく感じます。これからも患者さんやご家族一人ひとりが、その人らしい生活〃を送ることができるよう、精一杯支援し続けていきたいと思っています。

からと
上司
ひと



回復期リハビリテーション課課長
成田 知代

回復期リハビリテーション病棟で働く樋浦さんは5年目の作業療法士です。日々の訓練や退院支援など、他職種と連携しながらきちんと仕事をこなし、患者さんからの評判も良く信頼できるスタッフの一人です。学生や後輩の指導にも力を入れ、やさしくもあり適切な指導を行ってくれるので、頼りになる存在です。樋浦さんは摂食嚥下訓練やNST活動、地域リハビリの講師を務める等、病棟内での訓練に留まらず幅広く活動しています。また、院内の合唱部に所属し素敵な歌声を聞かせてくれるなど、多方面で才能を発揮している彼女に、今後も期待したいと思います。